

# SENKO REPORT

## 第97期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

- 1P 株主の皆さまへ
- 3P 部門別の概況
- 5P トピックス
- 7P 連結財務諸表
- 9P 会社概要
- 10P 株式情報



**SENKO**

証券コード 9069

# 中期経営四ヵ年計画の初年度、 目標の達成を目指し、積極経営を進めています

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第97期中間期における営業の概況と決算について、ご報告申し上げます。



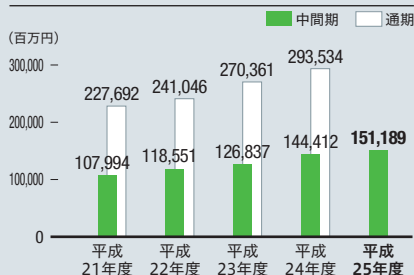
代表取締役社長  
**福田 泰久**

## 積極的な販売拡大や新サービスの提供で 増収増益となりました

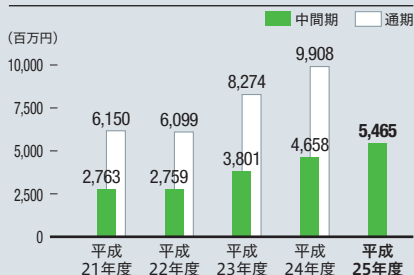
当第2四半期連結累計期間(中間期)の日本経済は、政府の経済政策による景気回復期待の高まりや消費増税前の駆け込み需要で個人消費が回復したほか、企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復しました。

物流業界におきましては、公共事業の増加や、消費増税前の駆け込み需要を受けた建設関連や消費関連の貨物などが増加傾向にあります。その一方で、円安の影響による燃料価格の高止まりで燃料コストの負担が大きい状況が続いております。

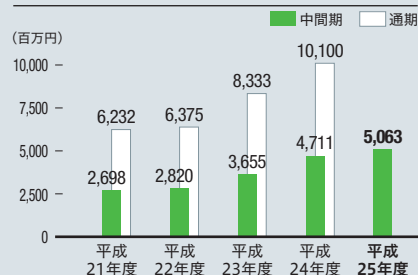
連結営業収益



連結営業利益



連結経常利益



このような環境の中、当社グループは平成25年度を初年度とする4年間の新中期経営計画を策定し、コーポレートスローガン「Moving Global」に添えた「物流を超える」「世界を動かす」「ビジネスを変える」を目標として、物流事業及び商流事業の業容を拡大するとともに、お客さまに一層信頼される高品質でコストパフォーマンスの高いサービスの提供に取り組んでおります。

当中間期におきましては、4月に北海道地区の地盤強化を目的とした札幌PDセンター2号倉庫(北海道)を、危険物保管に対応するため大門物流センター(滋賀県)内に新倉庫を開設したほか、5月には荷主との共同出資によるアスファルトタンカーを就航させ、韓国と日本を結ぶ外航海運事業を開始しました。8月には中部住宅物流センター(愛知県)を、9月には中部地区の事業基盤拡大を目的の小牧第2PDセンター(愛知県)を開設いたしました。

一方、海外におきましては、タイで日系自動車工場向けに部品の調達輸送サービスを4月に開始したほか、6月には韓国の釜山新港で物流センターの建設に着手し、9月

には中国で日系小売店向けに物流サービスを開始するなど、国際物流事業の強化・拡大を進めております。

これらの結果、当中間期の連結営業収益は、1,511億89百万円(対前年同期比4.7%増)となりました。

利益面におきましては、売上拡大効果やコスト削減効果、生産性向上活動の成果があったほか、会計基準の改正に伴う特別目的会社の連結子会社化の影響もあり、連結営業利益は54億65百万円(同17.3%増)、連結経常利益は50億63百万円(同7.5%増)となりました。連結四半期純利益については、33億74百万円(同26.2%増)となりました。

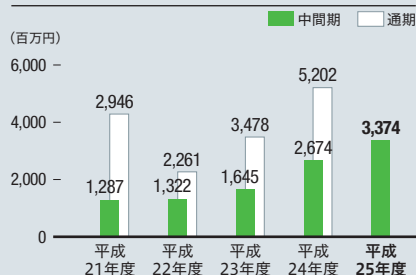
## 業績を踏まえ、増配を実施

### 年間配当金は16円とする予定です

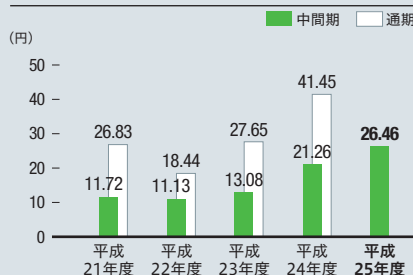
当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させるため、安定配当に加え、業績連動を考慮した配当を実施することを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、当初1株当たり7円

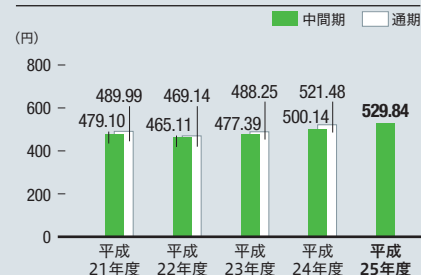
連結四半期(当期)純利益



連結一株当たり四半期(当期)純利益



連結一株当たり純資産



## 部門別の概況

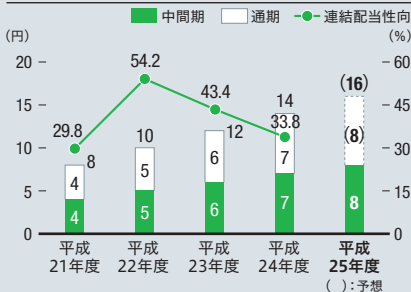
としておりましたが、当中間期の決算状況と今後の見通しなどを踏まえ、1株当たり8円に増配いたしました。期末配当金も1円増配し、年間配当金は1株当たり16円とさせていただきます予定です。

### グループの総力を結集し、高付加価値サービスの開発・提供に取り組みます

今後の日本経済は、消費増税前の駆け込み需要や企業の設備投資などの内需に支えられ、景気は底堅く推移するとみられます。このような環境の中、当社グループは中期経営計画に基づき、高付加価値サービスの開発と提供、物流センター事業の拡大、アジア地区などでの事業強化、新規事業の開発、収益力の強化などに取り組みます。同時にグループ人材の意欲と健康の向上・能力アップを図る中で、法令順守・環境対応・安全重視を柱として、企業の社会的責任(CSR)を全うしていく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 一株当たり配当金／連結配当性向

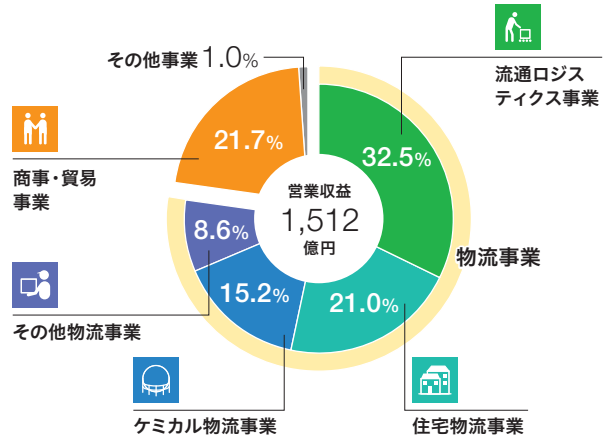


#### 免責事項

本報告書で記述されている将来についての事項などは、予測しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

当中間期の成果を部門別(セグメント別)に報告します。

#### 事業別売上高構成

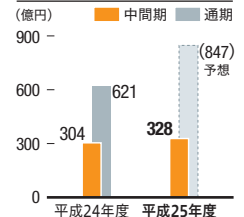


※今年度より物流事業における事業の分類を一部変更しています。昨年度の数値は変更後の分類によるものです。

#### 商事・貿易事業



#### 事業収入

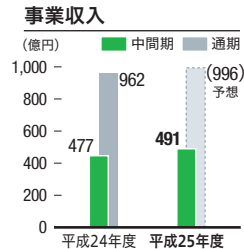


石油販売、商事販売、貿易事業などを行う事業です。石油カードを利用した燃料の販売、物流機器・資材など物流に関連する商材を販売するほか、日用品、包装資材、酒類などの卸売りを行っています。また、貿易事業も行っています。

当中間期は、石油販売の分野などで拡販が進んだこと、昨年10月に㈱オバタをグループ会社としたこと、貿易事業が拡大したことなどにより、対前年同期比8.1%の増収となりました。



## 流通ロジスティクス事業

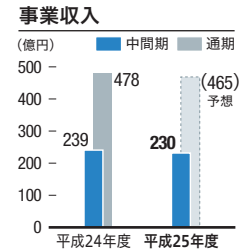


量販店や百貨店、専門店など、流通業界向けのほか、食品や電機・機械の物流サービスを行う事業です。

当中間期は、総合スーパーやディスカウントストア、アパレル量販店向けの物量が拡大したこと、電機・機械分野において新規顧客の開拓が進んだことにより、対前年同期比3.0%の増収となりました。



## ケミカル物流事業

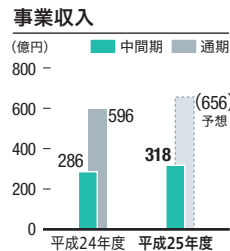


プラスチックなどの原料となる樹脂やプラスチック成型品、加工品の輸送や、機械などに使われる潤滑油の輸送に関する物流サービスを行う事業です。

当中間期も積極的な販売拡大を行い、新たな顧客を獲得しましたが、景気の影響などを受けた輸出や生産活動の低下による物量の減少があり、対前年同期比3.7%の減収となりました。



## 住宅物流事業



住宅メーカーの製品を工場から建設現場へ輸送するサービスや、住宅資材メーカーの住宅資材の輸送などの物流サービスを行う事業です。

当中間期は、住宅着工件数が増加していることに伴って物量が拡大していることや、積極的な販売拡大の効果で住宅資材メーカー向けの売上が伸長したことにより、対前年同期比11.0%の増収となりました。



## その他物流事業

流通ロジスティクス事業、住宅物流事業、ケミカル物流事業以外の物流サービス事業です。

当中間期は130億円と対前年同期比5.7%の増収になりました。

## その他事業

情報処理受託、自動車修理、保険代理業などの事業から構成される部門で、物流事業、商事・貿易事業に含まれない事業です。

当中間期は15億円と対前年同期比5.4%の減収になりました。

## 家庭紙専門商社のアスト株式会社がセンコーグループに



社名	アスト株式会社
設立	平成15年1月
売上高	451億円(平成25年2月期)
従業員数	169名



平成25年10月、当社はアスト株式会社(大阪府)の普通株式の7割を取得し、子会社化しました。同社はトイレトペーパーやティッシュペーパーなどの家庭紙を中心に扱う、国内最大規模の家庭紙専門商社です。

アストの特色は、単なる卸売りにとどまらず「工場を持たないメーカー」として取引先と共同で新商品を開発することや、全国に44カ所、合計2万坪を超える独自の物流センター網を持っていることで、商品開発から調達・物流・販売までを自社で一貫して行っています。

今後は、当社グループのスマイル、丸藤などと共同で商品開発、販路拡大などを行うとともに、アストの主要取引先であるホームセンターやスーパーなどへの物流を、当社が得意とする量販・小売店物流のノウハウで最適化します。また、お互いの物流リソースを活用した物流サービスの強化にも取り組みます。

## 東京ベイ・ファッションアリーナがオープン

当社グループの東京納品代行株式会社(東京都)が、平成25年10月に多機能ファッション物流センター「東京ベイ・ファッションアリーナ」(千葉県)を開設しました。

延床面積5万7千㎡と同社最大規模の物流センターで、アパレル関係のお客さまのニーズに対応する設備を備えています。QC(品質検査)スペースでは、商品の検品・検針、洗濯タグの付け替え、不良品修理、プレス加工などのサービスを行います。撮影スタジオでは通販事業を展開するお客さま向けに、入庫商品を撮影、採寸し、即座にインターネットにアップすることができます。

また、市川塩浜駅前に立地し、都心部や港、空港への輸配送に有利なだけでなく、公共交通機関でのアクセスにも優れています。



Pickup

## タイで自動車部品のミルクラン輸送を本格展開

### 24時間体制で自動車部品を輸送

当社は昨年、豊田通商株式会社（以下、豊田通商）さまと共同で「Senko Logistics (Thailand) Co.,Ltd.」を設立し、今年4月、自動車部品の調達輸送事業を本格的に開始しました。

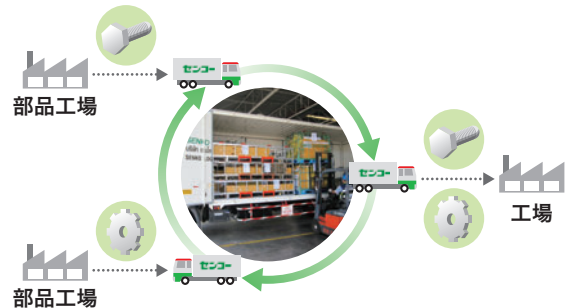
この事業は、バンコク周辺に位置する複数の部品工場と日系自動車工場を、「ミルクラン輸送」により、24時間体制で結んでいます。

当社グループにとって、タイでの自社車両による事業展開は初めてです。

今後、この事業を基盤として、タイ国内の輸送体制を拡充し、さらにはタイを中心としたアセアン地域での新たな物流サービスを開発・提供していく考えです。

#### ミルクラン輸送とは

複数の部品・資材の仕入先を1台の車両で巡回し、お客様の工場などへの納品を行う輸送方法です。少量の貨物でも他の貨物とまとめることにより、積載効率上がるほか、輸送回数を1回にまとめることによる物流コストの削減やCO<sub>2</sub>排出量の削減などのメリットがあります。



### タイでのドライバー教育に協力しています

豊田通商グループさまが、社会貢献活動の一環としてタイに設立した交通安全教育施設「TPRO(ティープロ)※」を支援しています。

当社が「クレフィール湖東」(滋賀県)で行っている安全運転教育の豊富なノウハウを元に、タイでのドライバー育成カリキュラムの構築に協力しています。タイでの輸送品質を向上させるとともに、現地の交通安全文化の発展に貢献される豊田通商グループさまのお手伝いができればと考えています。



※「TPRO」は豊田通商グループの「TTK Asia Transport (Thailand) Co., Ltd.」の施設です。

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結 会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,690	20,066
受取手形及び営業未収入金	42,387	39,627
商品及び製品	4,399	4,526
販売用不動産	3	3
仕掛品	190	172
原材料及び貯蔵品	186	180
その他	6,072	6,561
貸倒引当金	△ 66	△ 54
流動資産合計	68,863	71,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,117	57,691
土地	40,098	44,108
その他(純額)	11,389	14,302
有形固定資産合計	95,605	116,102
無形固定資産		
のれん	3,452	3,316
その他	3,477	3,302
無形固定資産合計	6,930	6,619
投資その他の資産		
差入保証金	9,252	9,323
繰延税金資産	3,435	2,782
その他	24,407	13,661
貸倒引当金	△ 399	△ 420
投資その他の資産合計	36,696	25,346
固定資産合計	139,232	148,068
資産合計	208,095	219,153

百万円未満は切り捨てて表示しています。

	前連結 会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	31,377	30,245
短期借入金	14,475	15,246
未払法人税等	2,540	1,757
賞与引当金	3,118	3,439
役員賞与引当金	181	74
その他	12,142	12,124
流動負債合計	63,835	62,887
固定負債		
社債	12,000	12,000
転換社債型新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	41,749	52,987
退職給付引当金	9,269	6,002
役員退職慰労引当金	65	62
特別修繕引当金	61	54
資産除去債務	324	327
その他	8,462	9,550
固定負債合計	76,931	85,985
負債合計	140,767	148,873
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,521	20,521
資本剰余金	18,782	18,834
利益剰余金	26,468	28,962
自己株式	△ 1,353	△ 1,214
株主資本合計	64,418	67,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	673	787
繰延ヘッジ損益	△ 4	△ 14
為替換算調整勘定	52	150
その他の包括利益累計額合計	720	923
新株予約権	195	235
少数株主持分	1,992	2,017
純資産合計	67,327	70,280
負債純資産合計	208,095	219,153



## 四半期連結損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)
営業収益	144,412	151,189
営業原価	129,976	135,583
営業総利益	14,436	15,605
販売費及び一般管理費	9,777	10,139
営業利益	4,658	5,465
営業外収益		
受取利息	87	78
受取配当金	473	57
その他	282	272
営業外収益合計	843	409
営業外費用		
支払利息	586	624
その他	204	187
営業外費用合計	790	811
経常利益	4,711	5,063
特別利益		
投資有価証券売却益	—	549
退職給付制度改定益	—	239
固定資産売却益	—	145
受取保険金	—	32
特別利益合計	—	966
特別損失		
固定資産除却損	—	134
関係会社出資金評価損	—	104
リース解約損	—	51
関係会社貸倒引当金繰入額	—	22
投資有価証券評価損	35	—
特別損失合計	35	313
税金等調整前四半期純利益	4,675	5,716
法人税、住民税及び事業税	1,708	1,764
法人税等調整額	275	536
法人税等合計	1,984	2,301
少数株主損益調整前四半期純利益	2,690	3,415
少数株主利益	16	41
四半期純利益	2,674	3,374

百万円未満は切り捨てて表示しています。

## 四半期連結包括利益計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,690	3,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 218	122
繰延ヘッジ損益	△ 216	△ 9
為替換算調整勘定	12	158
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	△ 421	271
四半期包括利益	2,268	3,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,257	3,577
少数株主に係る四半期包括利益	11	109

百万円未満は切り捨てて表示しています。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,885	4,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,570	△ 6,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	37	4,988
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	361	2,783
現金及び現金同等物の期首残高	13,354	15,690
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	1,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,715	20,066

百万円未満は切り捨てて表示しています。

# 会社概要

## 会社概要

(平成25年9月30日現在)

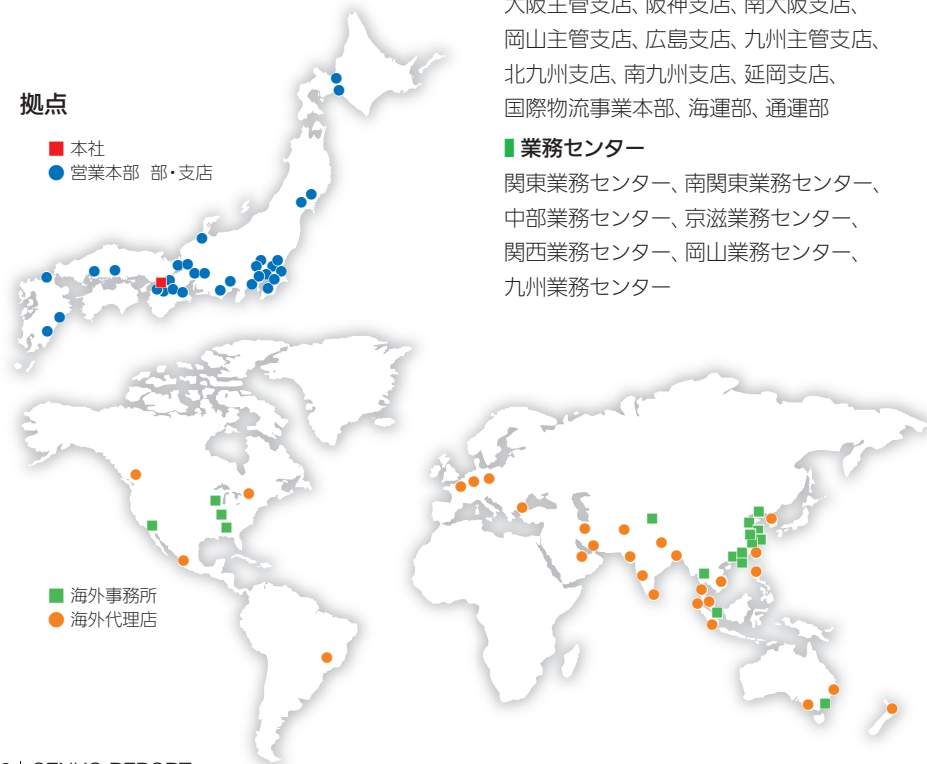
商号	センコー株式会社
資本金	20,521,133,751円
創業	大正5年9月
設立	昭和21年7月
本社	〒531-6115 大阪市北区大淀中一丁目1番30号 電話(06)6440-5155(代表)
事業所数	341カ所
従業員数	9,121名
車両台数	3,260台
所有船舶数	10隻
倉庫面積	242.9万m <sup>2</sup>

※グループ合計

## 拠点

- 本社
- 営業本部 部・支店

- 海外事務所
- 海外代理店



## 主要な事業所

(平成25年9月30日現在)

### ■ 営業本部・営業部

住宅物流営業本部  
ケミカル物流営業本部  
ロジスティクス営業本部  
百貨店物流営業部

### ■ 部支店

札幌主管支店、札幌南支店、仙台主管支店、  
仙台北支店、関東主管支店、茨城支店、柏支店、  
埼玉主管支店、埼玉北支店、埼玉南支店、  
東京主管支店、東東京支店、神奈川支店、  
厚木支店、千葉支店、静岡支店、  
名古屋主管支店、小牧支店、三重支店、  
北陸支店、京滋主管支店、京滋東支店、  
大阪主管支店、阪神支店、南大阪支店、  
岡山主管支店、広島支店、九州主管支店、  
北九州支店、南九州支店、延岡支店、  
国際物流事業本部、海運部、通運部

### ■ 業務センター

関東業務センター、南関東業務センター、  
中部業務センター、京滋業務センター、  
関西業務センター、岡山業務センター、  
九州業務センター

## 役員

(平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	福田 泰久
代表取締役	藤森 正三
副社長執行役員	手塚 武與
取締役執行役員	田中 健悟
専務執行役員	山中 一裕
取締役執行役員	川瀬 由洋
取締役執行役員	尾池 和昭
取締役執行役員	宮津 純二
取締役執行役員	米司 博
取締役執行役員	嘉永 良樹
取締役	飴野 仁子
取締役	尾島 史賢
常勤監査役	遠山 泰
常勤監査役	澤田 孝志
常勤監査役	石岡 孝伸
常勤監査役	吉本 恵一郎
専務執行役員	村上 和正
常務執行役員	大迫 友行
執行役員	山本 隆志
執行役員	白木 健一
執行役員	谷口 玲
執行役員	多田 政美
執行役員	佐々木 信郎
執行役員	是沢 可人
執行役員	室崎 行雄
執行役員	鶴留 和治
執行役員	伊藤 彰
執行役員	瑠璃垣 潔
執行役員	川崎 寛治
執行役員	前田 龍宏
執行役員	池辺 武雄
執行役員	後藤 邦彦
執行役員	河野 誠司
執行役員	大越 昇

## 子会社

(平成25年9月30日現在)

## 〈物流事業〉

- ロジ・ソリューション株式会社
- 株式会社センコー引越プラザ
- センコーエーラインアマノ株式会社
- 東京納品代行株式会社
- イヌイ運送株式会社
- 中国ピアノ運送株式会社
- 札幌センコー運輸株式会社
- 東北センコー運輸株式会社
- 関東センコー運輸株式会社
- 埼玉センコー運輸整備株式会社
- センコー住宅物流株式会社
- 千葉センコー運輸整備株式会社
- センコーファッション物流株式会社
- 柏センコー運輸株式会社
- 野田センコーロジサービス株式会社
- 神奈川センコー運輸株式会社
- 厚木センコー運輸株式会社
- 北陸センコー運輸株式会社
- 富士センコー運輸株式会社
- 大東センコーアポロ株式会社
- 東海センコー運輸株式会社
- 豊橋センコー運輸株式会社
- 三重センコーロジ株式会社
- 滋賀センコー運輸整備株式会社
- 大阪センコー運輸株式会社
- 東京納品代行西日本株式会社
- 南大阪センコー運輸整備株式会社
- 阪神センコー運輸株式会社
- 江坂運輸株式会社
- 阪神運送株式会社
- 奈良センコー物流株式会社
- 岡山センコー運輸株式会社
- 三協貨物株式会社
- 山陽センコー運輸株式会社
- 中四国ロジスティクス株式会社
- 福岡センコー運輸株式会社
- 南九州センコー株式会社
- 宮崎センコー運輸整備株式会社
- 宮崎センコーアポロ株式会社

- センコーブランテック株式会社  
センコーメディカルロジスティクス株式会社  
Senko (USA) Inc.
- 大連三興物流有限公司  
大連保税區貝思特國際貿易物流有限公司  
扇拡物流（上海）有限公司  
上海扇拡國際貨運有限公司
- 広州扇拡物流有限公司  
Senko International Logistics (Hong Kong) Ltd.  
青島雪興國際物流有限公司  
青島扇拡物流有限公司  
瀋陽扇拡物流有限公司  
Senko (Thailand) Co., Ltd.
- Senko International Logistics Pte. Ltd.  
Senko Logistics Australia Pty Ltd.  
Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP

## 〈商事・貿易事業〉

- センコー商事株式会社
- 株式会社スマイル
- 株式会社丸藤
- 富士ラベル株式会社
- 株式会社タカノ機械製作所
- 株式会社オバタ
- 上海斯美榮貿易有限公司
- HONG KONG SMILECORP LTD.  
Japan Select LLP

## 〈その他事業〉

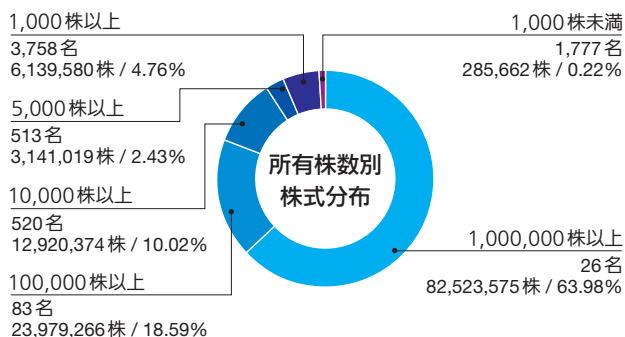
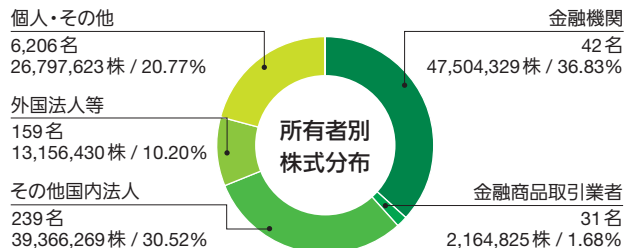
- 株式会社センコー保険サービス
- センコー情報システム株式会社
- 株式会社四国冷凍運輸倉庫
- センコーフーズ株式会社  
株式会社クレフィール湖東
- S-TAFF 株式会社  
センコービジネスサポート株式会社  
ロジファクタリング株式会社  
株式会社センコースクールファーム鳥取  
Senko Logistics (USA) Inc.

(注) ○は連結子会社を示しております。

## 株式の状況

(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 294,999,000 株  
発行済株式総数 128,989,476 株  
株主総数 6,677 名



## 大株主(上位10位)

(平成25年9月30日現在)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	14,104,000	10.93
旭化成株式会社	11,676,726	9.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	8,671,000	6.72
センコーグループ従業員持株会	7,019,743	5.44
積水化学工業株式会社	6,785,900	5.26
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,252,000	3.30
いすゞ自動車株式会社	4,039,689	3.13
資産管理サービス信託銀行株式会社	3,457,000	2.68
東京海上日動火災保険株式会社	3,439,170	2.67
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.46

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.senko.co.jp/">http://www.senko.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に 公告いたします。)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 当社は東京・大阪両証券取引所に上場していましたが、大阪証券取引所は平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行ったため、当社の上場証券取引所は東京証券取引所となっております。

## センコーグループのレストランで 楽しいひとときをお過ごしください

当社グループはレストランを運営しています。  
お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

### BISTROT D'ARTÉMIS (ビストロ・ダルテミス)



素朴なフランスの家庭料理・伝統料理と厳選したワインを気軽に楽しめます。

TEL 03-5770-7155  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-11  
ビクトリアプラザ1F  
▶ 北参道駅より 徒歩3分  
▶ 代々木駅より 徒歩6分

### CHICO&CHARLIE (チコ・アンド・チャーリー)

スペインのバルのような雰囲気  
でスペイン料理、メキシコ料理が  
味わえます。

TEL 06-6347-0303  
大阪府大阪市北区梅田3-1-1  
大阪ステーションシティ  
サウスゲートビルディング16F  
▶ 大阪駅直結



### GRAND TABLE (グランド テーブル)



湖東平野や琵琶湖、対岸の山々を  
望み、沈む夕陽を眺めながらお食  
事いただけます。

TEL 0749-45-3880  
滋賀県東近江市平柳町22-3  
クレフィール湖東2F  
▶ 湖東三山スマートICより 車で約5分  
▶ 八日市ICより 車で約15分